



右隻



左隻

59 朝陽鳴鳳之図

小室翠雲 六曲一双 大正14年(1925)  
絹本着色 本紙各161.5×366.0

日本銀行総裁よりの献上品。山水図に多くの秀作を遺してその名が知られる小室翠雲(1874~1945)による。靈芝や岩などの添景描写には翠雲らしい描写も見られるが、主題の鳳凰は、彩色も含めてこれまでに知られてきた翠雲の作品からは想像し難い意表をつかれるものである。主題は、作品の依頼主の要望によるのではないかと推察出来るが、献上のために鳳凰という画題に挑んだ翠雲の意気込みは、大画面に緻密で丁寧な描いている様子からも十分に窺える。 <展示 第1期-19>



- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に<sup>1</sup>出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

祝<sup>いわい</sup>美<sup>のび</sup>——大正期皇室御慶事の品々

三の丸尚蔵館第45回展覧会

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 野崎印刷紙業株式会社

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成十九年九月二十九日発行

©2007, The Museum of the Imperial Collections